

Title	新収資料一覧 (その五)
Sub Title	A list of early books newly housed in Shido bunko (part5)
Author	堀川, 貴司(Horikawa, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2022
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.56 (2021.) ,p.531- 559
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20210000-0531

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新収資料一覧（その五）

堀川 貴司 編

前輯掲載「新収資料一覧（その四）」以後に整理した古典籍（一部複製本等を含む）の一覧である。

記述事項はこれまでと同じく、書名、作成地（和漢韓洋）の別および判型、請求番号、編著者、成立年時、刊写の別および刊写者、特徴的な事項、蔵書印・書入等である。請求番号は三段から成る。上段が日本十進分類法新訂6―A版に基づき独自の改編を加えたもの、ただし、配架の都合上貴重書・特殊形態本に独自の番号を与えている。すなわち、091が貴重書、092が箱入り等特殊形態の貴重書、B1が準貴重書、B2が特殊形態の準貴重書、D6は特大本、D7はさらに大きなものである。また特殊文庫には別番号を与えており、平岡文庫には「ヒ」を冠し、椎本文庫は全て09Aで統一する。中段が同一分類内での通し番号（古典籍の場合番号の前に「ト」を付す）、下段が員数を表す。

今回は、購入後長らく未整理だった安井小太郎・浜野知三郎旧蔵の稿本類・手沢本の整理を行った（一部来年度に持ち越し）。それぞれ安井文庫・浜野文庫の資料を補完するものであるが、購入先の松雲堂書店関係資料も混在している可能性があり、旧蔵者は内容により推定したものである。

○ 総記

正齋書籍考二卷首一卷

020
ト8
3

近藤守重撰

文政六年（二八二三）正月刊（大坂・前川文榮堂河内屋源七郎）

卷首（凡例・綱領）および經部經總類のみ。刊記は四肆連記。印記・豊岡名主／平温宗（？）記、東都書肆／瀬

山／藏本／之記、春翠／文庫

〔質店帳簿板木〕

和特大

B2
ト20
1

今津質店編

〔明治〕製

入質年月日・番號・貸金・受戻等年月日・品目・質入主を記入するシート（版心「今津質店」）およびその簡易版を表裏に彫る。端食片側欠。墨・朱・青色顔料残存。

江戸時代の漢書刊行〔原稿〕

和太

B1
ト282
1

濱野知三郎撰

〔昭和一四年（一九三九）写（自筆）〕

二〇〇字詰原稿用紙ペン書。『近世日本の儒学』掲載の論文で、割付注のある完成原稿（尾欠）および部分的な草稿。乾隆欽定四庫全書總目四卷

和半

025
ト32
6

〔清紀昀等〕奉勅撰

文化一二年（一八一四）刊（江戸）和泉屋莊次郎、學問所御蔵板）

官版、覆文化二年刊本。外題「四庫全書總目」。書目のみ。印記・大久保好知藏書記

〔廣益〕書籍目錄五卷（外題）

和横小

025
ト37
5

闕名者編

元禄五年（一六九五）刊（京・八尾市兵衛等四肆）

扉題「本朝彫刻廣益書籍目錄大全（作者付大意）」目錄題「廣益書籍目錄大全」版心題「書籍大目錄」。『江戸時代
書林出版書籍目錄集成』に言う第三次印本。

〔増益〕書籍目錄大全 六卷（外題）

和横小

025
卜36
6

〔河内屋利兵衛〕編、丸屋源兵衛訂補 〔元禄九年（二六九六）〕刊、宝永三年（一七〇六）十一月修（〔京〕・丸
屋源兵衛）

序・目錄題「増益書籍目錄」、版心題「新增補目錄」。市古夏生『元禄・正徳板元別出版書総覧』に言う第一次印本
に第二次印本（卷二・六）を補配したか（この二冊のみ小口書、後補副題簽あり）。印記：若樹文庫、森田

〔新撰〕書籍目錄四卷（外題）

和横小

025
卜35
4

文照軒柴橋編

享保一四年（一七二九）一二月跋刊（京・永田長兵衛）

目錄題「新書籍目錄」、版心題「書籍（大）目錄」。『江戸時代書林出版書籍目錄集成』三所収本（義塾図書館蔵本）
にある卷四末二点は本書になし。

掃葉山房書目四卷

唐中

025
卜33
1

掃葉山房編

民國六年（一九一七）刊（上海・掃葉山房）

洋紙石印本。卷一首題「掃葉山房石印精本書目」。

萃文齋書目

唐中

025
卜34
1

萃文齋編

丁丑（一九三七）冬刊（奉天・萃文齋）

白紙石印本。本店主人竹筠錐炳冬序あり。

國立奉天圖書館殿版書目

唐大

026
卜48
1

國立奉天圖書館編

〔大同・康徳間〕刊（編者）

鉛印本、旧満洲国時代の刊行物。

伴翁稿目（扉題）

和半

027
卜12
1

伴信友撰

明治八年（二八七五）七月写（一筆）

弘化四年一二月種案（谷森善臣）、安政五年一二月栗田寛本奥書あり。書写奥書は花押のみで署名なし。

印記・中尾／臧書

〔安井文庫分類目録〕

和半

029
卜25
1

〔松雲堂書店〕編

〔近代〕写（一筆）

浅葱色刷九行罫紙使用、ペン書。墨付最終丁袋内に裏移りを防ぐための下敷き挿入、『懽堂日歴』の広告チラシを

二枚貼り合わせたもの（発売元松雲堂書店）。ヤ09B731と関連あり。

聿修堂藏書目録皇朝醫書

和大

B1
卜276
1

〔多紀元堅〕編

〔江戸後期〕写（一筆）

外題「聿修堂目録（皇朝醫書）」。朱注記あり。表紙貼紙墨書「栗園叢書／第一号」、印記・康章／珍藏、傳家宝、

大同／藥室

〔岸本〕家藏書目二卷

和半

B1
卜277
2

朝田（由豆伎）（弓槻）編

弘化四年（一八四七）六月写（自筆）

外題「蔵書目録」。川上新二郎「〔岸本〕家蔵書目」翻刻と解題」（斯道文庫論集45、20112）に著者家蔵本として翻刻あり。識語・新井蔵書目名

増刪韻府羣玉定本二〇卷

唐半

032
ト26
20

宋陰時夫原編、清謝瑛編

〔清〕刊（豫章四友堂）

封面「景昔堂鑑定」とあり。印記・乗竹／蔵書、故乗竹孝太郎氏寄贈、經濟／文庫／之印

〔浜野知三郎原稿類〕

和大

B1
ト285
1

〔浜野知三郎〕撰并編

〔近代〕写（自筆他）

料紙・筆記具とも雑多な原稿類および来簡等。まとまった原稿では「本朝三字經」「三字經の晰（追補）」「福山儒官」伊藤氏系図「鏡草を朝顔の異名といふ誤」（など和文考証随筆）あり。他は草稿断片、資料抜粹、書簡写など。三村〔竹清〕書簡（竹清）名入一一行野紙）あり。

一 哲学

日本儒學史〔校正刷〕

和特大

121
ト209
1

安井小太郎撰 闕名者校

〔昭和一四年（一九三九）刊（富山房）〕

昭和一四年四月刊『日本儒學史附漢文學史』（富山房）の精興社校正刷（菊倍判）。主として三校（初・再・四も一部あり）、ただし扉・口絵・蔵書目録・奥付・広告欠、ほとんど加筆なし。安井小太郎旧蔵。

稱謂私言

〔尾藤〕二洲撰

〔江戸後期〕写（一筆）

和大

121
ト208
1

文化八年（一八二二）一〇月菱（川月山）（在）跋刊秦嶺館活字本の写し。朱句点あり。料紙薄葉。
物茂卿了簡

和横中

121
ト210
1

〔荻生徂〕徂撰

〔江戸後期〕写（一筆）

扉題「来翁學寮了簡書」外題「徂翁學寮了簡書／安井小太郎手澤」。扉に成立年をメモした紙片貼付、それに朱書「朴堂先生手筆」とあり。安井小太郎旧蔵。識語・宿

〔安井小太郎原稿（經書關係）〕

安井小太郎

〔近代〕写（自筆）

和大

B1
ト268
5

1. 十三經解題稿本（概説および易・書・詩のみ存）、2. 春秋解題、3. 古文尚書考、4. 孟子性善說批判、5. 論語二見エタル孔子ノ對老意見ト思ハル、者。墨・ペン書両方あり、各種原稿用紙使用。安井小太郎旧蔵。

〔五經〕存詩經卷下

弘化（一八四四―四七）刊

和中

1230
ト51
1

傍訓本。表表紙欠。

京都帝國大學文學部景印舊鈔本第二集存講周易疏論家義記殘卷

京都帝國大學文學部〔編〕

昭和一〇年（一九三五）四月跋刊（京都帝國大學文學部）

和特大

D7
ト17
1

奈良興福寺藏〔奈良〕写本の影印および狩野直喜の跋（解題）。

讀易通義八卷首一卷附鯤齋磯邊君壽藏誌銘

和半

123.1
卜64
4

磯邊鯤齋（忠貫）撰、（附）寺門〔静軒〕（良）撰 嘉永四年（一八五二）正月序刊（通義塾藏板）

木活字版、ただし見返・序・誌銘は整版。版心に「言者不知齋藏」とあり。本文末に「鯤齋老人著懇玉堂精版發兌書目」あり、本書も含む。識語・静雄、印記・大和田／静雄、□（印文不明、壽か）

朱氏詩傳膏肓二卷附讀朱氏詩傳

和大

123.3
卜42
2

太宰春臺（純）撰

延享三年（一七四六）八月刊（江戸・青竹樓前川庄兵衛、文英閣前川權兵衛）

見返藏版印「文英／閣／藏書」。印記・磐井郡／大槻宗家／圖書記（緑印）、神田家藏

毛詩輯疏〔一二〕卷存卷二・三

和大

123.3
卜40
2

安井（息軒）（衡）撰

〔近代〕写（一筆）

ヤ09B.6.2.6のうち再稿本（丙）の転写か。「12扇印特製」浅葱色二二行罫紙を使用、能筆。

同 卷存卷十至十二

和特大

123.3
卜41
3

安井（息軒）（衡）撰

〔安井小太郎〕点〔昭和〕写（卷十一・十二森屋某）

〔崇文叢書 崇文院〕名入り一〇行二二字詰朱刷菊倍判原稿用紙、卷十ペン書、十一・十二墨書。卷十一・十二表紙に「森屋筆耕」とあり。安井小太郎旧蔵。

〔訓釋〕春秋左氏傳（殘欠）

和大

B1
卜274
9

安井小太郎撰

〔大正〕写（自筆）

自筆〔未刊〕原稿。冒頭から僖公二十八年まで（途中欠あり）。「漢文註釋全書原稿用紙」「明治出版社」とある二

一字一五行詰、頭注欄ある藍色刷B5原稿用紙にペン書。朱訂正（同筆）あり。冒頭の括のみ朱墨にて組指定等書入、「福井」墨署名あり。（昭和）六年六月一三日消印、安井小太郎宛斯文會研究部ハガキ（研究部会開催通知、孔印）挿入あり。安井小太郎旧蔵。

孝經大義

和大

1237
卜90
1

元董鼎注 闕名者点

〔江戸初〕刊、寛永一八年（一六四二）八月印（京：田原仁左衛門）

無刊記本の後印、版心題「孝經新註」。識語：傳融水之、印記：智／曉、第三大區七小區／窪村増田

四書白文（版心題）存論語二卷

和半

1238
卜292
1

〔江戸後期〕刊

句点のみ、四周单边有界九行一七字。版心「四書白文 論上（下）」 朱墨注記あり。

正平版論語解題

和大

1238
卜294
11

安井小太郎撰

大正一二年（一九二二）一〇月刊（財團法人斯文會）

活版。複製本の別冊解題。同一本一冊あり。安井小太郎旧蔵。

中庸集略二卷

和半

1238
卜293
2

〔宋朱熹〕撰 〔江戸後期〕刊

伝新発田藩版本活字版。四周单边無界九行一七字、注小字双行。帙外題落款「闇然簽（連印「北／澤」「潤／卿）」、

印記：日章軒／臧書印、樂□／不□

〔中庸講義二種〕

和半・特大

123.8
ト291
2

安井小太郎撰 〔大正一二年（一九三三）・昭和九至一〇年（一九三四―三五）刊（二松學舎・大東文化協會）

1. 『漢学専門二松学舎講義録』第九卷所収「中庸」抜刷（菊判）、2. 『月刊大東文化』第四號（昭和九年七月）至二十一號（二〇年二月）連載「安井小太郎先生述／中庸講義」（菊倍判、全二回のうち二・四・七・十四欠）

切抜。「二松学舎／中庸講義」と墨上書（自筆）された封筒に収める。クリップは錆びていたため除去。安井小太郎旧蔵。

大學衍義補備忘（外題）三卷

和半（幅広）

125
ト167
3

明丘濬撰 陳仁錫評 廣松盛誠編 天保八年（一八三七）九月写（廣松盛誠）

『大學衍義補』一六〇卷の抜書。奥書に「此本不孝陳仁錫評」とあり。表紙裏に「橋村主計／正（花押）」書簡および「中川采女／經（花押）」書簡（印刷）あり。前者は伊勢外宮権禰宜、後者は内宮禰宜か。印記：廣氏、平盛誠
管子二四卷首一卷存卷首・十三至二十
和半
128
ト37
5

旧題唐房玄齡注 明劉績・朱長春評 朱養和編校 武（田梅龍）（欽繇）校点 〔宝曆六年（一七五六）刊（京：文泉堂（林権兵衛）等）

外題「管子全書（重訂）」。印記：松本家藏、梅綻／堂藏、吐蛻

〈人相家相〉獨談義

和半

148
ト6
1

雲城故老撰、雲城辰二編 文久二年（一八六二）閏八月写（池上照房）

弘化三年刊施印本の写し。安井小太郎旧蔵。

〔断易天機通俗解説書〕

和半

148
ト7
1

闕名者撰

〔幕末明治〕写（一筆）

書名なし。後半は「雲夢嶽中鬼谷先生辨爻法解」の内題あり。安井小太郎旧蔵。

南園耄語（外題）

和半

B1
ト278
1

〔村山太白〕（邨山漢古）撰 天保八年（一八三七）九月序写（自筆）

撰者の孫邨山資の題辞によると、撰者の命を受けて几上の草稿をまとめた由だが、本文と朱句点・注記（削除指示等）は同筆、ともに撰者自筆か。

自覚譚

和半

B1
ト279
1

〔村山〕（邨山）太白撰 〔嘉永元年（一八四八）〕写（村山柴之介）

外題「自覚談」。亡父太白の著作刊行を企図した村山舒陽（允仲）が、師の広瀬淡窓の添削を受けるため、子の柴之助に書写させたものとの識語あり。淡窓自筆跋文は別紙挿入。

女四書七卷欠女誡

和大

159
ト28
6

〔辻原元甫〕撰 〔明暦二年（一六五六）三月〕刊

鎮祭詔寫等

和半

171
ト19
1

〔神祇官〕編

明治三年（一八七〇）冬写（横田颯）

神祇官出版の鎮祭詔寫・宣布大教詔寫・（宣教長官）宣命寫・宣教使心得書を合写したもの。安井小太郎旧蔵。

三教小辨

和半

171
ト20
1

中村〔三蕉〕（桑）撰

明治三年（二八七〇）冬写（横田〔輓〕）

安井小太郎旧蔵。

宗旨佛刹雜誌（扉題）

和半

185
ト 8
1

岡本況齋編〔岡本〕帰一〔補〕〔明治〕写（一筆）

宗派別・地域別寺院一覽。扉に「岡本況齋著／＼外孫」帰一稿」とある。赤ペン書（注記等）あり。「サ（丸囲み）ホ」名人浅葱色刷一〇行野紙使用。蔵書印ではないと思われる印記「所願／満足」「洗足池／御松庵」「□□／納所」「海禪／寺印」「武藏立川氏／居□□玄武／山普濟禪寺」あり。「從六位下クトル重見周吉／診療所 日本橋區亀井町八番地向」と印刷された名刺、短歌・俳句草稿紙片、「無形文化財龍頭の舞」（昭和三〇年八月二六日付小松茂盛の解説文。孔印一枚刷）を挿入。表紙に不明花押墨書、印記・荻野藏

〔鎌倉五山記〕

和大

091
ト 440
1

闕名著編

〔室町後期〕写（一筆）

続群書類従本と同系統だが、記事はやや詳細、「京城五山」「唐五山」「同十刹」あり、末尾に蘭溪道隆の法語を付す。朱合点・朱引あり。もと本文共紙表紙・紙釘装、〔近代〕後補くるみ表紙・紙縫綴を追加。

二 歴史

雲圖鈔

和特大

092
4
1

〔藤原重隆〕編

〔江戸前中期〕写（神服宗信）

卷子本。朱・薄墨・墨による挿図あり。裏書あり。群書類従本と同じ本奥書を持つ。伝受識語「此一軸猥不可取行雖為一子以誓紙可傳写之無豫儀依懇望雖秘書圖令傳受之者也／一風斬（軒カ）（黒陽椿田印「者（？）」）。印記は継目印としても使用。また裏書末尾識語「元禄年中父神服宗信君所傳之一軸也昔日神服宗隆君之書也中古在一風軒而再會孫宗信君受寫也然宗信之嫡子神服宗夷（？）受授筆」とあり。「神服」はいずれも不明二字に上書。印記…林氏／圖書、東園／文庫、平岡連／文庫印、平岡家寄贈／圖書之印／昭和三十三年十一月

泰平年表□卷存卷一至四

和半

215
卜6
3

〔大野広城〕（忍屋隠士）編

〔幕末明治〕写（一筆）

家康至綱吉。版本の写しか。印記…穂高藏書

〔士氣鼓吹〕維新志士詩傳（外題）

和大

B1
卜275
1

伊達陸洲編

〔明治〕写（自筆）

「一讀三嘆／泣血淋漓」詩歌文拾集（外題）と題された稿本（朱訓書入）、表紙に朱「Jry 2, 2550」（明治二三年一月二日か）、末尾「写人伊達陸洲英誌」とあり。表紙に某書簡断簡貼付。これに「獄中ニアリ作ル所ノ字経 大橋順藏」「近古慷慨家之出處」「贈於人見勝太郎之詩 雲龍」および別筆カ「阪本龍馬伝／上／勝安芳公」（外題、尾欠。内題は「日本國史／陪臣傳／阪本氏」）を洋紙厚紙表紙に合綴。漉返料紙に紅葉和歌六首を記す紙片挿入あり。

安井小太郎旧藏。識語…伊達陸洲藏（印「伊達」）、仙臺之士伊達陸洲迂卿藏

陔餘叢考四三卷（甌北全集のうち）

唐大

222
卜162
10

清趙翼撰

乾隆五五年（一七九〇）刊（湛貽堂藏板）

紅葉山文庫本と同版後印。書外題「甌北全集十三（廿二）。印記：獻英樓／圖書記、田安／府芸／臺印、田藩文庫
〔安井家関係者墓石拓本〕

闕名者製

〔近代〕拓

和

B1
↳ 272
10

蔵書目録作成用野紙（竹紙か）裏面を用いたもの。1. 「肥前島原中村太郎（中村貞太郎）之墓」（四枚、南千住回
向院）、2. 「桂月妙輝信女」（息軒四女歌）（三枚、高輪東禅寺）、3. 「雪峰妙観大姊」（息軒妻佐代）（三枚、同前）
の三点。

〔安井家先祖書〕

和半

B1
↳ 264
1

安井〔息軒〕（仲平）撰 元治二年（＝慶応元年、一八六五）二月写（自筆カ）
先祖書・親類書・遠類書・三代各無之書付・屋敷書付・切支丹宗門改証文・諸願書付拝借金有無書付・同姓書付・
印鑑から成る。朱墨訂正あり。印鑑には「此用紙程村也」と朱書あり、清書本の控えとして残したものか。安井小
太郎旧蔵。

伊東氏記録有欠

和半

288
↳ 4
16

闕名者撰

〔近代〕写（一筆）

一ノ一至四、二、卷三ノ一至八（合綴）、卷九ノ上（未完）、同下（完）、卷十、卷十二上ノ一・二、同下、卷十三ノ一、
同続、卷十四ノ一、同続から成る。藤原鎌足から始まる歴代について文書等も引用した伝記集成。巻1尾題「伊東
氏家譜」とあり。「大のや」名入り四〇〇〇字詰原稿用紙（和紙・浅葱色刷）使用。安井小太郎旧蔵。

先哲彙傳二冊・同附録・續先哲彙傳三冊欠上冊・同附録

和半

289
卜28
6

吉本弘編

〔近代〕写（自筆）

江戸中後期を中心とする漢学者（附録は国学者・医者・画家等）の伝・墓碑等の集成。稀に「墨舟」「鎌浦漁者」の評が朱書されているのは編者のものか。正編半丁三〇字×一一行枘目入り代赭色刷野紙、続編二〇字×一〇行枘目入り浅葱色刷野紙使用。

庚申日録（外題）

和半

B1
卜269
1

奥山虎炳撰

万延元年（一八六〇）至文久元年（一八六一）写（自筆）

万延元年二月一日から翌文久元年正月二十三日までの日記。後遊紙に医学関係の雑記あり。最終丁に明治三十六年五月二十五日消印の撰者宛封筒（中味なし）を貼付。安井息軒関係記事に付箋鉛筆書メモあり（筆跡小太郎と異なる）。安井小太郎旧蔵。

寓燕日記（外題）

和半

091
卜435
2

〔安井小太郎〕

明治三六年（一九〇三）至三八年六月写（自筆）

北京滞在日記。第一冊は「萬寶軒」名入り紅色刷九行野紙、第二冊は「文茂祥」名入り紅色刷九行野紙を使用。第一冊表表紙欠。書名は第二冊外題による。安井小太郎旧蔵。

大正八年日記（外題）

和半

B1
卜270
1

〔安井琴子〕撰

大正八年（一九一九）八月至十二月写（自筆）

縹色刷一二行野紙墨書。八月二十六日条に「けふは父上祥月命日とて」と島田篁村の命日に触れる。大正八年九月

日付の安井小太郎帰宅挨拶状（印刷）を挿入。文面通り九月九日条に帰宅の記事あり。安井家旧蔵。
父上をしのひまつりて（外題）

B1
ト267
1

和半

〔安井〕 童子撰

昭和一三年（一九三八）五月写（自筆）

小太郎四女童子が父の四十九日に記した回想記。伊東屋No.78（四〇〇字詰、脚注用余白あり）原稿用紙ペン書。安井家旧蔵。

森立之傳（外題）

和大

091
ト438
1

森立之撰

〔明治〕写（自筆）

自筆履歴草稿二種および戯文「骨董店之報単」を収める。印刷局名入り一〇行墨刷罫紙使用。外題別筆「森立之傳」〈養竹艸稿〉。

三 社会科学

内閣職制九變考（外題）

和大

322
ト30
1

闕名者撰

〔明治〕写（一筆）

朱刷罫紙、版心下象鼻「内閣」とあり。

朝鮮官職考

和半

322
ト29
1

〔伊藤東涯〕撰 正徳元年（一七一二）夏刊（〔京〕…崇古堂〔林景范〕）

印記…爲己齋／藏書記、齊藤氏／藏書記、瀬□／圖書、白鳥／藏書

足利學校見聞記

和大

B1
ト283
1

廣瀬旭莊（建）撰 〔倉石武四郎〕校 〔大正〕写 〔野田文之助〕

〔松雲堂用箋〕名入り代赭色一〇行罫紙に墨書。欄上別筆墨注記、又別筆ペン書紙片挿入あり。原著日記形式を改編した原稿だが、別筆墨注記者（倉石）が原態に戻すことを主張、大正一四年刊行本は原態のままになっている。 和中

376
ト1
1

芝麻布有志共立幼稚園第六回報告 明治三年（一八九〇）一月刊（編者）

洋紙活版刷パンフレット。「幼稚園」一覽の「三之組」に「安井あや子」の名あり。小太郎女か。裏表紙に切手と帯封の一部存。安井小太郎旧蔵。

三靈解

唐大

389
ト1
1

章鴻釗撰

民国八年（一九一九）冬刊（北京法輪印刷局）

鉛印本。附図石印。

四 自然科学

消遣茶話・蘭園日涉三卷存中下・蘭學事始附記

和大

B1
ト284
4

大槻〔磐里〕（楨）撰

〔大正〕写（學）新村出

（消）（園）は一〇行罫紙墨書、朱訂正・割付注あり。（學）は五〇〇字詰原稿用紙ペン書、大正二年七月新村出書 写奥書（原本大槻家蔵）、朱訂正・割付注あり。

日本醫家古籍考

和半

490
ト12
1

中河〔中川〕壺山撰

〔幕末明治〕写（一筆）

外題「醫家古籍考」。外題題簽内識語…希月舎藏、印記…希月舎藏

欽定四庫全書提要醫書之部（外題）三卷

和中

490
ト11
3

〔清紀昀等〕奉勅撰 石坂宗哲編〔并点〕 天保九年（一八三八）一〇月刊（江戸…和泉屋金右衛門、陽州園藏）

内題「欽定四庫全書總目」、卷百三至百五（子部十三至十五、醫家類一至三）の付訓抽刻。料紙白紙風。印記・松井家藏、

富士川家藏本（中冊のみ）

六 産業

王政通考残卷

和半

611
ト5
1

闕名者撰

〔江戸後期〕写（一筆）

目録題「王政通考卷之 目録／恵恤之政」（二行目抹消）とあり、政治論全般のうち社倉等の飢饉対策について、

漢籍等の関連資料を引用し、カナ交じり文にて評釈するもの。抹消・切り貼り等のある稿本。識語（貼り紙にて隠

す）…渡部成休

七 芸術

〔美術叢書抄出〕

和半

708
ト5
1

闕名者編

〔近代〕写（一筆）

美術叢書（初集）第一至第三集より書筏・書法約言・七頌堂識小録・負暄野録（提要あり）・前塵夢影録（拔萃）・玉紀・玉紀補・觀石録・後觀石録を抜写したもの。一部句点あり。安井小太郎旧蔵。

〔女用文章唐錦〕 残欠

和太

728
卜28
1

〔春名須磨〕 書

〔享保二〇年（一七三五）九月〕刊（京・吉文字屋市兵衛）

前後欠、存一一張分。頭書に「女訓智恵海（ぢよくんちゑのうみ）」あり。識語・徳永氏志摩

御手鑑（外題）

和特大

D6
卜34
1

古筆了佐編

慶安四年（二六五二）八月刊

いわゆる慶安手鑑。筆者「稱硯子（花押）」、刊記部分入木、年記および「追加古筆鑑」広告あり、「藤田宗安」印なし。

728
卜29
1

〔新聞掲載書・篆刻作品貼交帖〕

和半

闕名者編

〔大正六年（一九一七）〕製

新聞に掲載された書および篆刻作品（書は縮小版、篆刻は原寸か）を切り抜いて貼り交ぜたもの。掲載紙不明。安井小太郎旧蔵。

八 言語

稲川問椽齋答書後二題ス

和太

821
卜22
1

岡井慎吾撰

大正五年（一九一六）八月写（自筆）

四〇〇字詰原稿用紙ペン書（外題のみ墨書）、誤字・草書等訂正（別筆）あり。N47D/461 稻川質疑についての文。
浜野知三郎旧蔵。

數雅〔二五〕卷存卷十一・十二・十五并断簡

和半・大

091
ト443
3

杉原（心齋）（直養）撰 〔幕末〕写（一部自筆）

助数詞を集成したもの。卷十一・十二は半紙本、「清暉樓鈔本」名入り一〇行罫紙、卷十五（尾欠）は大本清書本、「心齋」名入九行罫紙。他は安積良齋序・各卷共紙表紙・稿本断簡等。浜野文庫に僚卷あり（09/1a-9/1.1a-10/1.1a-11/2）。
印記：緑静堂／圖書章

九 文学

古今和歌集〔三条抄〕二〇卷

和 大

092
ト190
2

紀貫之等奉勅編 闕名者注 寛正四年（一四六三）九月写（正珠軒惠隆）

列帖装。朱訓点・濁点・注記書入。真名序上冊末にあり。書写奥書「此本當流二條家以正本寫之殊更以朱點等百廿ヶ條之切紙雖為別紙之相傳依為秘本此内悉註付畢無相傳而令披見者住吉玉津嶋北野天神可蒙御討者可神秘々々々
／雙紙長寸法閉様和哥所之御本不可違末代之重寶可仰可信々々／寛正四（二十二）年菊月中旬（朱花押）書畢」（こ
こまで上下冊ともあり）、相伝識語（奥書と同筆）「自三條大納言為幸／相承正珠軒惠隆（墨花押、年記部分と同一）
／示源朝臣忠貞（前行と別の墨花押）」（下冊のみ）。塗箱入。

拾遺和歌集二〇卷

和 特 小

092
ト191
1

〔花山天皇〕編

〔室町後期〕写（一筆）

列帖装。二条家本、文應元年七月融覺本奥書あり。二条為忠筆八半切断簡（092/7162/1）に体裁酷似。朱訂正あり。二重塗箱入、両者とも蓋に「端二条家為忠卿／奥常光院圓雅」と金銀泥上書あり。古い包装（絞刺繡あり）を付す。

夫木拔書

和横中

911
ト228
1

〔藤原長清〕編（後陽成天皇）（和仁）再編（江戸前期）写（一筆）

夫木和歌抄全体からの抄出。末尾に題目一覽あり。高松宮本（H-600-1178、マ函8）と同体裁、親本の忠実な転写か。「夫木拔書／稻荷詣」と墨書、その下に赤色飾り枠内「九号／本／28」と墨書したシールを貼付した紙片挿入。

夫木抄拔書（三）卷欠卷下

和横半

911
ト229
2

〔藤原長清〕編 闕名者再編（江戸前期）写（一筆）

卷上・四季（卷一至十八）、卷中・雑前半（卷十九至二十八）の抄出。巻中に別料紙紙片二枚挿入、雑歌一四首・恋歌八首を記す（出典不明）。「夫木拔書（春部一冊／雑部一冊）」と墨書、その下に赤色飾り枠内「九号／本／29」と墨書したシールを貼付した紙片挿入。

〔類題和歌集〕残欠

和大

911
ト231
6

後水尾院奉勅編

〔江戸前期〕写（寄合書）

外題「類題」。版本巻立で卷六、七至八、九、十二至三、十六至七、公事部のみ存。卷十六至七（外題に冬上とあり）に「冬二冊 梅小路三位」とのメモ挿入。筆者か。續類題と同時購入。卷六の一部に、題部分切り取りあり。續類

題編集作業と関わるか。

續類題〔三〇〇〕卷残欠

和大

091
↳ 442
52

〔葛山為篤〕編

〔江戸前期〕写（寄合書）

完冊卷五十六・六十一・六十四・七十二・九十五至七・百二十九・百三十一・百六十・百六十二至四・百六十六至七・
百七十七・二百七・二百十二・二百十七・二百二十四・二百三十至一・二百三十七（二五冊）、部分存卷三十一・五十・
百二十五・百三十・百五十四至五・百五十九・百六十一・百六十五・百八十二至三・二百八・二百十・二百十六・
二百十八至九・二百二十二・二百二十六（一八冊）、巻次不明紙綴綴断簡八冊、断片二九枚（うち一枚は巻百五十
八に挿入されていたメモ、「西沢作左衛門」墨書署名と朱書「一閱了」の書入あり）。印記：牘庫、露／沾、子孫永
保／共六十（五十一もあり）巻／雲煙家／藏書記、不明朱印（寶龜カ）

〔新類題和歌集〕存夏・雜上

和大

911
↳ 232
2

靈元院奉勅編 〔江戸前期〕写（寄合書）

外題「新類題」。雑上は外題に「卷十一雑上」とあり。續類題と同時購入。

歌合部類

和大

911
↳ 227
20

闕名者編

〔江戸前期〕刊、貞享二年（一六八五）八月印（京：西村九良右衛門、二口伊豫）

原裝綠色菊花文刷表紙。識語：昭和廿六年十二月購入（冲森）／八五〇円（鉛筆書）、印記：漱／石、西莊文庫（第
1冊表紙貼紙には墨書「花廿一（全廿）」と共に）

百首哥合（左大將家後京極殿）建久四年（六百番歌合）

和大

911
卜 17
4

〔藤原良経〕等詠 藤原俊成判〔江戸初期〕写（二筆）

春夏・秋冬・恋一至五・恋六至十の四冊、外題朱書「百首歌合 上（中、下）」（第三冊外題なし）。総裏打補修。識語・常尊、印記・圓滿院法藏

四十七番歌合

和特大

09A
138
1

長堅等詠 橘守部判

〔江戸後期〕写（橘東世子・判者）

本文東世子筆、判詞守部自筆か。題「名所月」「旅宿虫」、詠者…長堅・畏齋・吉来・倚松・應小・年齋・照房・守拙・幸光・祐之・嘉雄・宗徳・千世女・たか女・良樹・たけ女・田女・公茂・宗栄。無記名二首あり。錯簡あり。

百萬・三井寺

和半

091
卜 439
1

〔世阿弥〕撰 〔江戸初〕刊

古活字車屋本。原装具引地草花雲母刷下絵表紙、中央茶染料紙無辺刷題簽「三井寺／百萬」（文字は光悦風、本文と逆順）。

月菴醉醒記三卷

和特大

091
卜 441
3

〔一色直朝〕撰

〔室町末〕写（一筆）

浅葱色金泥草花雲霞下絵表紙、料紙楮打紙。古典文庫四一五影印底本。印記…椎本文庫、幸（帙題簽にあり）

鑑人録・儒林逸話

和半

914
卜 17
1

小笠原〔冠山〕〔謙〕編

〔江戸後期〕写（自筆カ）

一二行墨刷野紙使用。『文会雜記』等からの抜き書きが中心。印記…高頭／藏書、日本經濟／史編纂所／藏書之印
蓬萊園記鼈頭艸

09A
139
1

橘守部撰 〔江戸後期〕写（自筆）

題簽墨書「錦所叢書（蓬萊園記 守部先生真跡／乾）第十」「乾」「第十」は朱書とあり。本文冒頭「うつけみの」とあり、定稿本と異なる。総説部分のみ存。

花の旅 和半 915
ト8
1

旅狂撰 〔明治〕写（自筆）

汽車旅の吉野山紀行。一二行二五字栞目料紙、朱墨訂正あり。安井小太郎旧藏。

安井息軒先生消息六通 和大横 091
ト436
1

若山〔甲蔵〕編 〔幕末明治〕写（安井息軒自筆）

書簡六通を適宜分割し、折本に貼り込んだもの。1. 明治三年五月二十一日付、2. 慶応三年正月十九日付、3. 〔明治三〕年七月十六日付、4. 慶応二年十二月二十日付、5. 不明（前後欠、文中藤田東湖が徳川斉昭の使者として到来したことに触れるので、安政二年以前）、6. 日付なし（アヘン戦争・鶴岡藩酒井家国替騒動について報じる内容、天保一二年執筆か）。1至4は長倉玄圭宛、6は安井治部蔵宛て。日付のうち年の部分は別筆書入（玄圭か）。若山『安井息軒先生』九六頁に2. の一部を引用、また『安井息軒書簡集』（安井息軒顕彰会、一九八七）に全て収録。ただし、5. に「一月十五日」の日付を加え、安政二年としたのは不審、同書二四所収藤田東湖書簡と関連づければ、安政元年正月某日とすべきか。印記…若山／圖書、臧六書房

先王遺事（鳩巢書簡抄出）（外題）

和半

916
卜3
1

〔室〕鳩巢撰 〔幕末明治〕写（龍一郎）

後光明天皇に関する話題。奥書「右者鳩巢翁より加州門人へ来状の留の内にあるを抄し出して掛御目申候／小川方治様 龍一郎」安井小太郎旧蔵。

〔安井小太郎書簡〕

和

092
卜189
3

安井小太郎撰

〔明治四〇年（一九〇七）八月至大正一五年（一九二六）五月〕写（自筆）

明治四十年八月十八日消印、同年十月十一日消印のハガキ二通、大正十五年五月十四日消印の書状一通。いずれも佐藤雙峰（精明）宛。

大隈大臣伯爵閣下台啓（外題）

和大

B1
卜280
1

萩原（西疇）（裕）撰

明治二九年（一八九六）一二月写（自筆）

旧交のあった大隈に対して内閣記録局勤務中の編纂物（臺灣琉球始末・善隣始末・大政記要等）の目録を提示するもの。本文末署名のあとに「萩裕／私印」印記あり。本文罫紙使用、表紙素紙、大和綴。

柳橋詩話（二）卷存卷上尾欠

和半

919
卜368
1

加藤善庵撰

〔幕末明治〕写（一筆）

刊本写し。卷上三〇才途中まで。朱句点・批点あり。

歸鞍吟草二卷

和大

919
卜366
1

神屋（立軒）（亨）撰

嘉永二年（一八四九）二月写（西川光彝）

享保七年刊本の写し。全丁全裏打。

〔穀堂遺稿抄卷六残欠〕

和大

B1
↳ 287
1

〔古賀穀堂〕撰〔幕末〕写（一筆）

無表紙、穀堂遺稿抄の卷六の一部（賦・五言古詩・七言古詩）を存するが、乱丁・落丁あり。版下直前の清書本の一部か。

李門詩草

和大

091
↳ 437
1

〔伊東祐相〕撰〔安井息軒〕評〔江戸後期〕写（自筆）

冊子を半葉ごと分割、折本に貼り込んだもの。「戊戌（天保九年）の作、伊東家の先祖を詠んだ「讀家乘三絶」を含む。表紙に若山甲蔵メモ貼付「詩稿ハ作者未詳ナルモ添削ノ朱書ハ安井息軒先生ノ筆」。印記：□□□□／若山蔵六（右半化粧断）

息軒先生文稿

息軒先生文別集（外題）

和大

B1
↳ 263
2

安井息軒撰 塩谷右陰・落合雙石評〔幕末明治〕写（一部自筆）

（稿）は安井小太郎題簽、塩谷右陰評（自筆）・落合雙石評（写し）を含む。冒頭に雙石撰「滄洲安井先生行狀」を付す。（別）は二種（各別筆）合綴。安井小太郎旧蔵。

送中村孟達序

和大

919
↳ 373
1

〔安井〕息軒撰

〔近代〕写（一筆）

四〇〇字詰原稿用紙ペン書（外題のみ墨書）、紙縫綴。中村孟達は息軒長女須磨子の夫、小太郎の実父である旨の

頭注あり。赤ペン訂正あり。浜野知三郎旧蔵。

芳街新詞

和大

B1
ト 273
1

〔中村貞太郎〕（儲古齋）撰 嘉永三年（二八五〇）至五年写（自筆）

自筆稿本。五九首附録二首を収める。安井小太郎旧蔵。

不如黙齋遺稿（外題）

和半

B1
ト 265
1

安井不如黙齋撰

〔幕末〕写（自筆）

息軒次男謙助の自筆清書稿および草稿を合綴。一部「斑竹山房」名入り罫紙使用。草稿には「安井謙」または「安井益」と署名、父息軒・中村敬宇らの添削や山井清溪・雲井龍雄・篠崎竹陰らの評があるものあり。安井小太郎旧蔵。印記・斑竹山房／臧書記

芝田古今詩稿

和大

B1
ト 271
1

柿本權編

〔江戸後期〕写（一筆）

尾本龍淵（大江元遜）を中心とする新発田藩士や藩内の僧侶らの詩を集めたもの。

客江漫記（外題「倦遊録 未定稿」）

和中

919
ト 367
1

闕名者編

〔江戸後期〕写（自筆）

内題下「羽澤山房讀書餘暇記以備遺忘」とあり、編者は謙堂の弟子か。冒頭は謙堂詩が多いが、漢籍等抄出や正気歌などもある。印記・昭和十五年十一月廿三日／老松園文庫（数字部分ペン書）

近人文鈔 (外題)

〔樋口和堂〕編〔幕末〕写 (自筆)

和半

919
ト 370
1

松林飯山・塩谷右陰らの文を集めたもの。朱句点・批点あり。印記・樋口

諸家詩集 (扉題)

〔樋口和堂〕編〔幕末〕写 (自筆)

和半

919
ト 371
1

幕末の学者・志士のの詩を集めたもの。識語・樋口氏

小村長城遺書 (外題)

小村長城編 〔明治〕写 (編者筆)

和大

B1
ト 286
1

息軒先生詩 (安井息軒)・息軒安井先生行述 (平部嶠南)・高山正之傳 (前欠、撰者不明)・謙斎先生遺艸 (田中謙斎)・

登富士山記 (阿万) 鉄崖・(建白書) (同、明治四年六月) から成る。いずれも飢肥藩校振徳堂関係者。外題・目

録別筆。印記・長城窟 / 臧書記、安井小太郎旧蔵。

千菊文集 (外題)

安井千菊撰 〔明治〕写 (自筆)

和半

B1
ト 266
1

謙助息千菊 (一八六七―一八四) が二松學舎在学中に記した和文・漢詩文 (朱添削あり) と『大學章句』写本を合綴

したもの。安井小太郎旧蔵。

漢詩抄録 (二) (外題)

大森雅村撰

和半

919
ト 369
1

昭和二五年 (一九五〇) 至二六年写 (自筆)

撰者名は挿入紙片「17 市原蒼海／大森雅村著「漢詩抄録」(二行目緑色)との記述による。コクヨA4四〇〇字詰原稿用紙使用、墨・鉛筆両用。〔荒浪〕煙厓・土屋竹雨添削の旨注記する作品あり。表紙裏張に台東区教育振興協力会入会勧誘のチラシ使用。

讀書餘適鈔

和半

919
↳ 372
1

安井息軒撰 谷口豊編

明治三五年(一九〇二)四月刊(東京・成章堂)

活版。外題角書「中學教科用書」。附録として息軒詩五首を収める。安井小太郎旧蔵。

楚辭一七卷附楚辭音

和太

921
↳ 329
3

漢劉向編 王逸注 (附)〔前川六左右衛門〕(崇文堂主人)編 莊〔田豊城〕(允益)校点 寛延三年(一七五〇)

五月刊(江戸・前川六左衛門)

版心題「王註楚辭」。「豹軒曰」「文臺按」云々と記す紙片挿入あり。印記…長善館／藏書(鈴木文臺)、杜徳

韓翰林集(外題「晚唐韓翰林詩鈔」)

和半

921
↳ 327
1

〔唐〕韓〔偓〕撰 野原衡校 村上麗澤編 〔江戸後期〕写(編者自筆)

文化七年刊本を詩体別に抄出、朱批点を付す。「蘭雪堂叢書」名入り青灰色刷一〇行罫紙使用。識語…麗澤先生書 姑南先生遺物／大正七年十一月二十八日拜受／加納彦(印)「彦／印」「石華」(右傍同筆にて、二人は父子で、ともに『宜園百家詩』に載る旨記す)、印記…村上藏書、夜襟樓／之印章、彦／印・雨／篷(連印)

白氏長慶集七一卷目二卷附一卷

和大縦長

921
↳ 330
12

唐白居易撰

立野春節点

明暦三年(一六五七)八月刊(京…松栢堂林和泉掾時元)

題簽「白氏文集」。万治元年（一六五八）十月点者跋あり。原三五合一二冊（目錄二合一冊、他は三合一冊）。朱句点・朱引・墨注記書入。「縛戎人」孔印プリント挿入あり。印記：元／澄、松風洞（以上原冊首）、幽／友（第1冊首、元澄とセツトか、壺印）、西莊文庫（「月十八全十二」墨書あり）、桂窗

唐宋千家聯珠詩格總目

和大

921
ト328
1

闕名者編

〔昭和〕写（自筆）

〔西紅庵主無聲用箋〕名入り萌葱色刷一〇行罫紙使用。

唐詩選かるた説明書〔原稿〕

和大

B1
ト281
1

〔浜野知三郎〕撰

〔近代〕写（自筆）

原稿用紙（相馬屋・岡山小野半仙堂製の二種）にペン・墨書・朱訂正、別筆朱割付注あり。唐詩選七言絶句五〇首の注解。

京本通俗小説存卷十至十六

唐大

923
ト10
2

闕名者撰

〔民国〕刊

繆荃孫跋あり、923/132と同版早印か。ただし、題簽なし、卷十題下「多」、卷十四題下「矣」白抜き文字はない。下冊水損あり。

